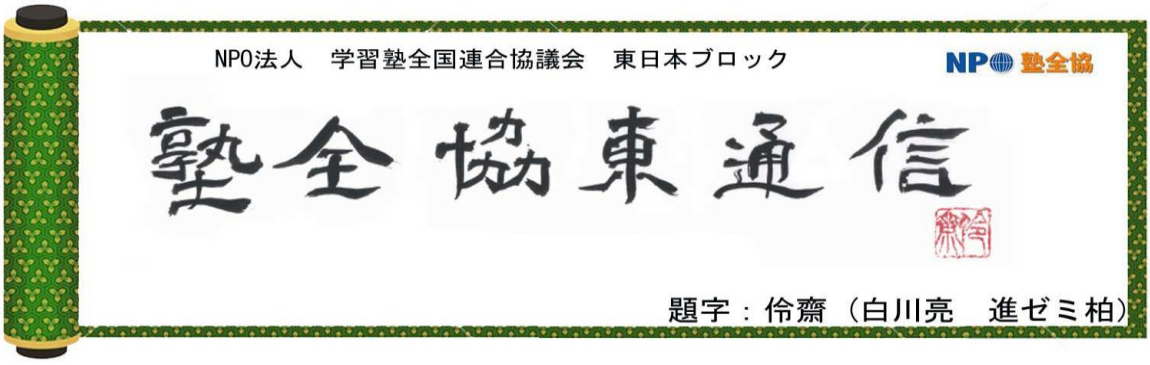
2018 年 1 月



NPO 塾全協　東日本ブロック主催

教育情報展 レポート

日時：2017 年（平成 29 年）12 月 6 日（水）10:30～13:30

場所：柏商工会議所

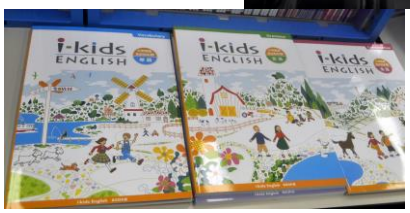
出展企業：20 社

写真と文：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長　中村基和

奥が展示会場、手前はセミナー用の席。

進学研究会 五十嵐氏による高校受験情報

今年度の教育情報展はテキスト類が中心でした。
目立ったものは時期柄冬期講習テキストと小学生英語のテキストでした。ある教材会社の営業の人とこれからの小中学校の英語教育の動向を話しました。彼らもよく勉強しています。下は各社の小学生英語のテキストです。



あるブースの方から「先生、お会いしたことありますね。」と声をかけられました。何と 12 年くらい前に私の塾にきていた某社の営業マン、Y 氏でした。私の塾（件自宅）は東京の中野区ですが、彼は私の地元の出身で、幼稚園の後輩だったと分かりました。彼は最初、中野の方の営業所にいたのですが、その後千葉に転勤になったそうです。まさかここで出会うとは…。悪いことは出来ませんね（笑）

2017 年　学校説明会レポート
城北中学校・高等学校（東京都 板橋区）

日時：2017 年（平成 29 年）12 月 7 日（木）10:00～11:30
文：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長　中村基和

池袋から東武東上線に乗って 13、4 分すると上板橋に到着します。それから徒歩なのですが、歩く距離が結構ある上、持ち前の方向音痴のため以外と時間がかかってしまいました。そのため説明会会場に入ったのが開始 5 分後くらいで校長先生の挨拶を大部分聞き逃してしまいました。しかし時間からして短い挨拶でした。最後に文武両道の学校だというようなことをおっしゃっていました。

募集担当の清水先生がまず中学入試の出願方法等の説明。昨年より出願はすべてインターネット出願で、学校窓口では受け付けず、写真添付もインターネットです。調査書は不要です。入試は 2/1、2、4 の 3 回で 4 教科。足切りはありません。合格発表もインターネットで、同日発表。繰り上げ合格は電話の連絡で、繋

がるまで連絡します。(小学校受験などのいわゆるお受験では繋がらなかったら次のところなんて聞いたことがありますので、これは安心です。）帰国生優遇はプラス 10 点で、複数回受験優遇もあります。

次に高校入試。推薦入試は国数英の適性検査と面接。事前に英語で書いた志願理由書を提出してもらいます。課題は‘What are you interested in’面接でこれを音読させ、それに対して英語で質問され英語で答える。まるで英検の二次試験です。英検の 3 級～準 2 級の練習をすれば良いとのことです。一般受験では補欠もありますが、昨年度は 31 名中 21 名が合格で、全員合格ではありません。

さてこのあと各教科の入試問題の説明ですが、これが初めて見るタイプのものでした。すなわち清水先生が司会を勤め、各教科担当の先生に質問形式で尋ねるという、まるでテレビのニュース番組・スポーツニュースの様なものでした。

まずは英語。長文読解の割合が 70%と多い。長文はやや長め。英文法問題、英作文は典型的なもので、学校や塾で貰ったテキストで良い。語彙と文法を鍛えて貰いたい。

次に国語。中学入試は読解 90 点、漢字 10 点。訊かれていることを把握して表現する力が求められます。高校入試の推薦は毎年意見論述をさせます。中高入試共に‘過去問を活用しよう’、‘漢字の書き取りは丁寧に（トメ、ハネは厳密に見る)’がメッセージでした。

数学。大問 1 は正答率 70～90%。大問 2 は簡単なものから並べてある。四則混合の計算問題は工夫した方が早く解ける。立体の切断は頻出。2 回切断するものも出る。解答用紙は答えのみ書くものであるが、　細かく見渡し、途中の考え方がしっかりしているかどうかを見られるように出題している。最後まで解き切る計算力が求められる。

中学入試の社会。近隣の地形図の問題が出題され、近隣の生徒に有利みたいであるが、地形図のことがちゃんとわかっていれば出来る。城北の校歌からも出題された。各分野の割合は、地理 25 点、歴史 25 点、公民 20 点。地理では毎年雨温図が出題され、今度も出る。歴史は癖があるので、過去問を使うと良い。同じ教員が毎年作題しているので似たようなパターンが出やすい。公民は、「〇〇年の重大ニュース」のような書籍を読んでおくと良い。基本は夏までのニュース。正答や誤答で選ばれなかった選択肢も勉強しよう。

中学入試の理科。配点は物理 20 点、化学 20 点、生物 15 点、地学 15 点。レポートを書く力を見たいと思っている。グラフや図を描く練習と、短文を書く練習を繰り返して貰いたい。

このように文字どおり傾向と対策を話して貰いました。社会などはここまで言ってもいいのかというくらいサービスして貰いました。始めに「入試は受験生へのメッセージ」という話がありましたが、「本校を受験する生徒にはこの様な能力を求める」ということでしょう。普通、学校説明会は進学実績と部活や進路指導、その他の行事を紹介するものですが、殆どありませんでした。おそらく学校案内を読んでくれればわかるからという理由でしょう。まさに塾の先生にとっては「実用的」な説明会で、大変参考になりました。前述のとおりテレビのニュース番組・スポーツニュースの様な進行もわかりやすく、非常に興味深い説明会でした。実は 50 年前（1967 年）私はこの学校の高校入試を受けていました。当時は典型的な都立の併願校で、受験者数は何と 6000 人くらいいました。私は教室で受験できましたが、寒い体育館で震えながら受験していた生徒たちもいました。現在は中学受験も高校受験も上位校との併願はあっても、殆どの学校の滑り止めにはなりません。時代は変わったものです。

NPO 塾全協西日本ブロック 忘年会 参加レポート

日時：2017 年 12 月 17 日（日）・18 日（月）

（昼の部）「適塾」「司馬遼太郎記念館」などを巡る散策

（夜の部）拡大理事会・忘年会

幹事・案内：杉山信良先生（栄光塾）

文と写真：中村基和　（一部 沼田広慶）

参加者：西日本ブロック 13 名、東日本ブロック 3 名

12 月 17 日（日）午後 1:30、大阪駅に集合。西日本ブロック恒例の拡大理事会・忘年会に先立って杉山信良先生（栄光塾）の案内で「大阪探索」に出ました。まずは華岡青洲の塾、合水堂跡。そして三好達治文学碑、懐徳堂跡、愛珠幼稚園（現存する最古の幼稚園）。

そのあと牛痘種痘法による切痘をしたといわれる除痘館。そして今回のメインの一つである適塾の見学。以下は沼田広慶全国会長が FACEBOOK に投稿した文と写真です。

昨日は NPO 塾全協の現地研修会と忘年会が大阪で行われました。近畿地方は勿論、関東や中国、沖縄からも同志が集まり、懇親を深めました。現地研修では合水堂跡、懐徳堂跡、愛珠幼稚園、適々斉塾、司馬遼太郎記念館等を見て回りました。案内役の杉山先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。写真は福沢諭吉や大村益次郎たちが学んだ適々斉塾の中です。感動しました。

最後は東大阪の司馬遼太郎記念館。司馬遼太郎氏の自宅の庭に記念館が建てられています。中学時代に書いたという文章がありましたが、上手いのなんのって、とても中学生とは思えませんでした。

↑　司馬遼太郎氏の書斎

←本棚。切り立った断崖絶壁のようで、まるで図書館です。
（館内の写真撮影は禁止なのでパンフレットのものを借用）

白井陽子先生（Shirai Private School）が→差し入れしてくださった酒。故郷（輪島）の本家は酒造元だそうです。辛口でこれは美味い！と大評判でした。

5 時ころ道頓堀の「大和屋」に着き一風呂浴びてから西日本ブロックの拡大理事会。主なテーマは藤井比呂古先生（藤井塾）による 11 月の沖縄での全国研修大会の会計報告でした。また東日本ブロックの山本太志先生（四季青舎柏）から会計関係の話が出ました。

7 時からいよいよ忘年会。沼田会長の乾杯の音頭で始まりました。料理は明石焼きや神戸牛の寿司など関東の人間には珍しいものばかりで、杉山先生は先ほどの大阪探索もこの料理も「大阪」を強調したそうです。

↑英語落語を披露する藤井先生。大受けでした。

↑二次会でムーン・リバーを弾き語りする白井先生。塾全協のヘップバーン？

今回の功労者は何と言っても杉山先生。「大阪探索」でのきめ細かなコース取りと時間配分、わかりやすく興味深い解説と素晴らしい大人の社会科見学をさせてもらいました。

↓帰りもちょっとした社会科見学。

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長　中山和行
〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地
TEL 049-296-1111　FAX　049-296-1111　　E-mail　gyqbt650@ybb.ne.jp
NPO塾全協東日本ブロックHP　http://www.jzk-east.com